

山行報告書

作成: 2010年11月24日

愛知岳連 岡崎山岳会

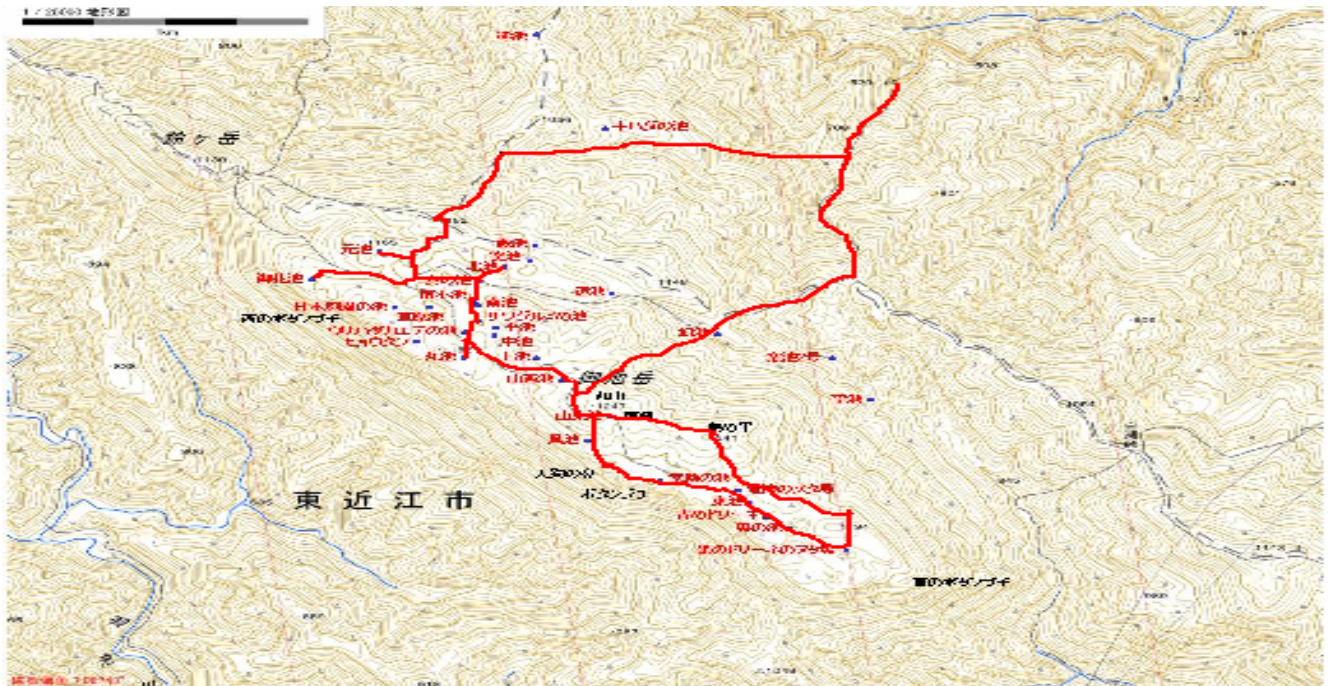
山名[山域]	御池岳(1247m) [鈴鹿山脈]	目的[方法]	読図山行
期間	2010年11月21日(日)	形態	日帰り登山
参加人数	5人		

行動記録:

◇11/21(日) 晴れ、微風

藤原簡易P(630)⇒0:20⇒コグルミ谷出合(630,645)⇒0:15⇒コグルミ谷分岐(645)⇒1:32⇒鈴北岳(831,841)⇒0:10⇒元池(851)⇒0:09⇒御花池(900)⇒0:27⇒真の池(927)⇒0:11⇒北池(938)⇒0:10⇒南小池(948)⇒0:12⇒サワグルミの池(1000)⇒0:04⇒ウリハカエテの池(1000)⇒0:04⇒丸池(1013)⇒0:37⇒奥の平(1050,1140)⇒0:40⇒黒のトリーネスタ場(1200)⇒0:15⇒ボタンブチ(1304)⇒1:19⇒カタグリ峠(1423)⇒0:57⇒コグルミ谷出合(1510)⇒0:20⇒藤原簡易P(1530)

概念図:



日誌:

20日(土)に藤原簡易P横にある別荘の様に綺麗なコテージに泊まらせていただきました。コテージ内でご馳走をいただき、翌日への養力を付け、夜11時頃就寝。

翌日21日(日)5:00起床、天気非常によく、山頂の景色に期待し準備を整える。6:00にHさんと合流しコグルミ出合へ。

登山口はわかりやすく、6:45登山開始。登山開始直後コグルミ谷からタテ谷の方へ点線ルートに進行。前半は広い尾根の登りは踏み跡もほとんど落ち葉で消えており、目印のテープを探し苦戦。やはり広い尾根は迷いやすいと実感する。後半は谷の登りということで道はわかりやすかったが、木が倒れていたりして荒れており隣の尾根まで登り、鈴北岳へ到着。

頂上は山の頂とは思えないほど、一面平らでした。さてここから本番の池探し当て読図トレの開始。皆で力をあわせて、次々と池を探し当てていく、道なき道も歩き、読図の難しさを実感。奥の平で豪華なお昼ご飯を頂き、池探し開始。途中Mさんから冬季ルートの説明もあり、池探しに奮闘をし、最後にボタンブチで素晴らしい歌と鈴鹿山脈の景色を堪能し、下山ルートへ。

下山ルートは落ち葉によりふかふかで気持ちよい反面足元が見えない恐怖もあった。途中長命水を飲み、若返るMさん。途中近藤岩＝杣人氏の眠る岩を教えてください。コグルミ谷出合へ下山。

時間もほぼ予定通り、読図の難しさを実感した山行で、勉強になりました。

感想:

三重県の山初めて登山しました。景色の雄大さで感激です。

また読図では距離の感覚が非常に難しいと感じた。宴会もあり、勉強もあり、非常に楽しい山行でした。